



和合町 災害時行動基準

全戸配布
保存版

2025年8月
和合町自主防災隊

今年度、災害発生時の行動基準ができました。

災害発生時は、和合町民の皆さんはこの行動基準を参照し、対応をお願いします。

① 地震発生時

震度4 震度5弱 震度5強	中規模地震とされます。地震の揺れがおさまった後、テレビ、ラジオ、防災アプリ等で情報を確認の上、避難するかどうかの判断を自ら行い、避難する場合は、第一次緊急避難場所を経由して泉小学校(緊急避難場所)に避難しましょう。	
震度6弱 震度6強 震度7	地震発生から3秒	姿勢を低くし、頭を守り、命を守る行動をとりましょう
	地震発生から3分	家族の安全を確認 揺れがおさまったら、ドアや、窓を開けて逃げ道を確保。 自宅の様子を確認。(ガラス等でケガをしないように靴を履く) 火の元を確認(火が出ていたら初期消火) 在宅の家族が安全ならば黄色いタオルを玄関先に出してください
	地震発生から30分	テレビ、ラジオ、防災アプリ等で地震の情報を収集 近隣の高齢者や、乳幼児がいる家、また、黄色いタオルが出ていない家には、積極的に声を掛け、ご近所同士で安全を確認してください
	地震発生から3時間	各部の防災倉庫に各部の部隊が、また、泉小学校に災害対策本部が、泉小学校体育館に避難所が開設されます 在宅避難ができないと自ら判断した場合は、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉め、第一次緊急避難場所を経由して、泉小学校に避難をしてください。自分の身の回りの必要な物(非常持ち出し袋)を持って避難しましょう

震度と地震規模

震度1～3 : 小規模・・・屋内にいる人の多くが揺れを感じる。

震度4～5強 : 中規模・・・非常な恐怖を感じる。
多くの人が行動に支障を感じる。

震度6弱 以上 : 大規模・・・立っていることが困難になる。

② 風水害発生時

自治体(浜松市)が発表する警戒レベル別に必要な行動をとりましょう

警戒レベル3 (高齢者等避難)	高齢者や障がいのある方、妊婦など避難に時間のかかる方は避難を開始。ハザードマップの危険区域付近にいる方も避難準備を整え危険を感じたら自主的に避難。避難所は防災ホットメール等で確認する。
警戒レベル4 (避難指示)	対象地域の住民全員が速やかに危険な場所から避難。全員避難。迷わず避難を開始しましょう。避難所は防災ホットメール等で確認する。 ※命を守るため、警戒レベル4までに避難することが必要です。
警戒レベル5 (緊急安全確保)	すでに災害が発生しているか、発生直前の状態です。

※自主防災隊は必要に応じて馬生会館に避難所を開設する。電話で確認。053-472-8883

※ 風水害に備えてあらかじめチェックしておきましょう

- ハザードマップで自分の住んでいるところが浸水域かどうかを確認しましょう
- ハザードマップで自分の住んでいるところが土砂災害による危険区域かどうかを確認しましょう
- 自分の家が、浸水域にあっても2階に避難できるなどで安全確保ができますか
- ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか
- 避難に支援が必要な方は支援してもらう方を決めてお願いしておきましょう
- 避難所の開設は浜松市からの情報となります。浜松市防災ホットメール等で配信されます。あらかじめ登録をしておきましょう。
- 安全な場所に住んでいて頼れる知人、親戚がいますか？
- 避難経路を確認しておきましょう（避難は安全に避難できるうちに行いましょう）
雨の中の避難を想定し、自分で避難をシミュレーションしておきましょう

※ 各家庭で日常から行っておくこと

- ① 家族の連絡方法を確認しておく
- ② ハザードマップ等で自宅の周り等の危険を知っておく
- ③ 避難経路、避難場所（第一次緊急避難場所、泉小学校グラウンド）、部隊防災倉庫とそこまでの経路（一経路だけでなく別ルートも）を確認しておく
- ④ 最低3日分の飲料水の備蓄 1日3ℓ×3日×家族の人数（できれば7日分）
- ⑤ 食品、非常用トイレの備蓄
- ⑥ 家具の固定、自宅の耐震化
- ⑦ 非常用持ち出し袋を作っておく（常備薬、アレルギー対応の食品、離乳食、ミルク、おむつなどは、各自で責任をもって準備しておく）